



National Hospital Organization
Yamato Mental Medical Center



独立行政法人 国立病院機構 **やまと精神医療センター**
看護部

病棟・看護の紹介

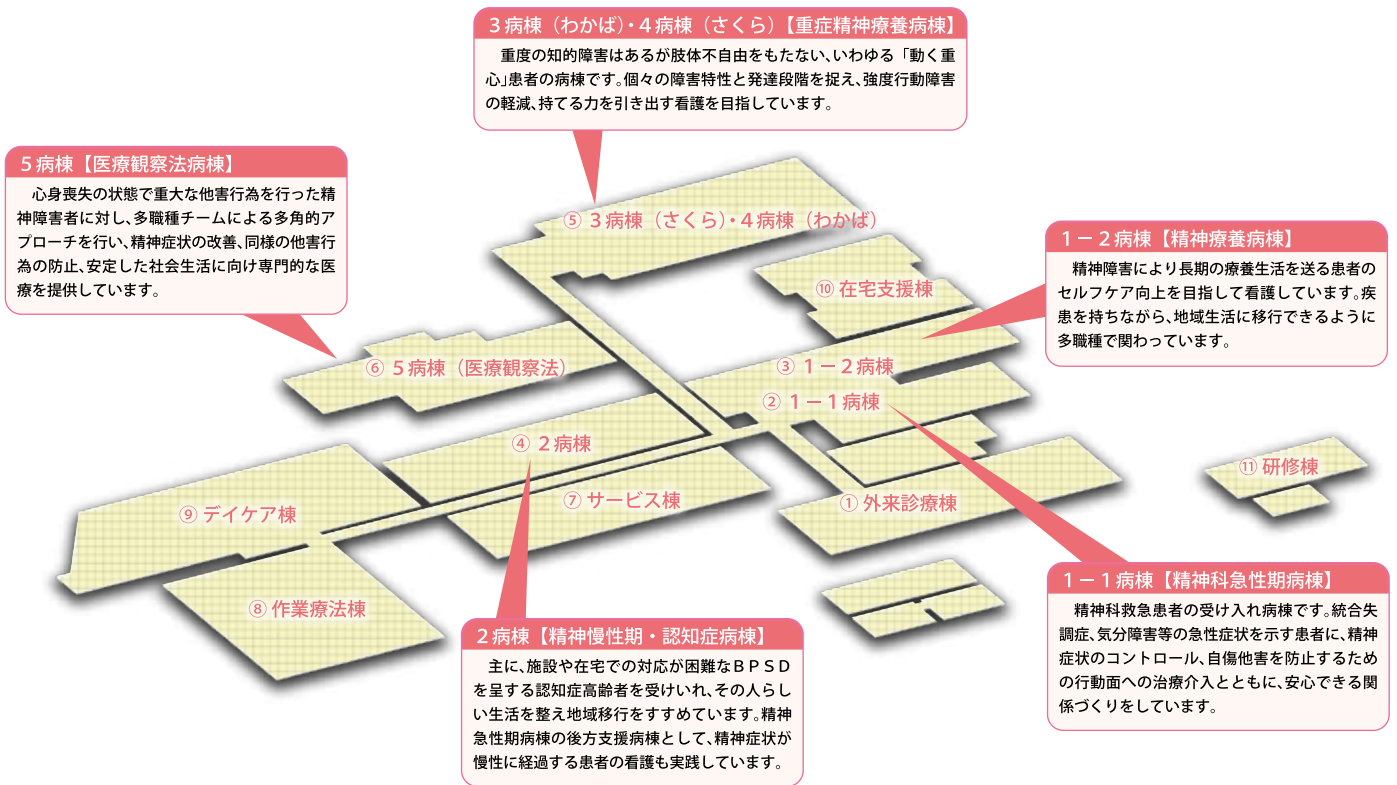
診療機能

精神科救急 (奈良県の応急入院指定病院)	動く重症心身障害 (入所及び在宅支援)
結核等合併症 (近畿地方唯一の結核合併精神科患者受入施設)	
高齢期精神障害及び認知症	精神科デイケア及び 社会復帰活動の支援
医療観察法による 指定入院医療	
教育研修 臨床研究 情報発信	

病棟の特徴と夜勤体制

病棟名	病棟	病床数	夜勤人数	夜勤体制
1-1 病棟	精神科急性期病棟	44	2人(輪番日は3人)	二交替
1-2 病棟	精神療養病棟	54	2人	二交替
2 病棟	精神慢性期・認知症病棟	50	2人	二交替
3 病棟	重症心身障害児(者)病棟	50	3人(療養介助職1名)	二交替
4 病棟	重症心身障害児(者)病棟	50	3人(療養介助職1名)	二交替
5 病棟	医療観察法病棟	35	5人	二交替
合計		283		

病院の構造図



●精神科デイケア

在宅療養を送る精神障害の方を対象が、調理や農園芸などの個々に応じたプログラムに参加し活動することによって、主体的な生活能力の獲得、社会参加の促進を支援しています。



●通園事業「通園ほほえみ」

発達障害や自閉症、強い行動障害を抱えている18歳未満の学童や18歳で生活介護を必要としている方が通園しています。児童指導員、保育士、看護師と共に、個々の成長発達に合わせて、運動、創作、音楽などの療育活動を行っています。



●精神科訪問看護

地域で生活する精神科患者さんや家族の方が、家庭や地域社会の中で安心して日常生活を続けられるよう、看護師、精神保健福祉士、作業療法士が複数で訪問しています。服薬状況や病状の確認、日常生活を送る上での様々な助言、社会資源の調整を行っております。



病院の理念

当院は、精神障害、重症心身障害を対象とする精神科専門医療機関です。我々は、地域との調和を元に、生命の尊厳と人権を守り、患者様の視点に立った良質な医療の提供に努めます。

看護部の理念

私たちは精神を病む人・重い障害を持つ人に対して、人間への愛、人間尊重を基盤に常に患者さまの視点に立ち科学的かつ主体性のある看護を目指します。更に、専門的役割を通して地域のニーズに対しても質の高い看護を提供します。

私たちは、
患者に寄り添い、
心と心をつなげる
看護をします。

ロゴマークの由来



緑（松籟の松を連想させる色）の球体は「診療」を、その中にある3つの波模様は「教育」、「研究」、「司法」を意味し、優しさを表現するための球体を2つ配置することによって漢字の「心」を簡略化したイメージを表現しています。

看護の得意技

社会生活技能訓練 (SST)

本人の希望や目標に合わせて、行動療法、認知療法に基づき実施しています。社会生活での人間関係におけるストレスを減らし、楽に過ごすことができます。



「コミュニケーション」

共感、傾聴、共に過ごすことをとおして、患者さんに安心感を届けています。



薬物療法看護

向精神薬の不慣れな飲みごち、長期に飲み続ける患者さんの辛さをくみとり、有害事象の早期発見、無理なく服薬が続けられるよう支援しています。



認知症高齢者看護 「BPSDへの関わり」

認知症の中核症状から感じている不安や混乱、つらさを感じとり、安心できる関わりからなじみの関係をつくりBPSDの軽減、穏やかな笑顔で過ごせるように努めています。

パーソン・センタード・ケアの実践を目指しています。



「レクリエーション」

行事で季節感を感じてもらいながら認知や運動機能への働きかけを行っています。七夕かざりづくり、合唱の場面などで秘めた機能を発揮される姿に、驚きと喜びを感じています。



重症心身障害児者看護 「強度行動障害への関わり」

いわゆる「動く重心」といわれる、重度の知的障害に加えて著しい行動障害を伴う患者に、応用行動分析（ABC分析）を用い、個々の言動の背景にあるニードを捉えてじっくりと関わり、個々の育ちを支えています。関わりを通して成長していくことに喜びを感じています。



安全を守る技術
包括的暴力防止
プログラム

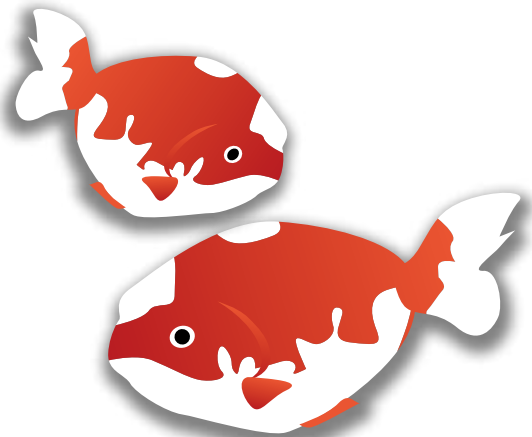
手厚い
医療提供体制
多職種による
チーム医療

ノーマライゼーション

看護部の教育

研修・資格

- ◇ 国立病院機構 看護職員能力開発プログラム (ACTy)
- ◇ 専門研修 [精神疾患・認知症・重症心身障害・医療観察法]
- ◇ 身体管理研修
- ◇ 倫理研修
- ◇ 役割研修 [プリセプター・実習指導者・副看護師長 など]
- ◇ CVP(包括的暴力防止プログラム) 研修
[トレーナー養成研修・トレーナーフォローアップ研修]
- ◇ 頼人制度 [院内制度]



5つのコース

強度行動障害

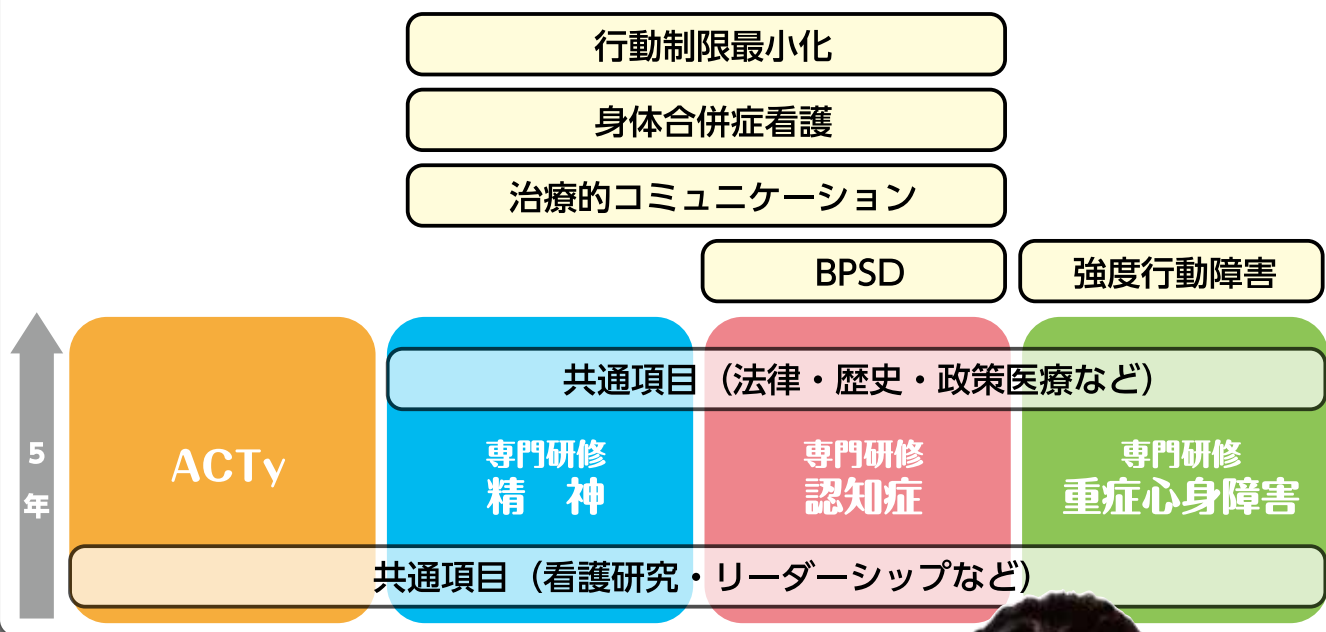
BPSD

行動制限最小化

治療的コミュニケーション

身体合併症看護 (薬物療法)

【頼人研修】



頼人について

● 頼人とは

精神・重症心身障害看護のそれぞれの分野において、専門的な知識と熟練した技術を持ち、頼りにされる看護師。当院の前名称の松籟荘にちなんで頼人と名付けた。

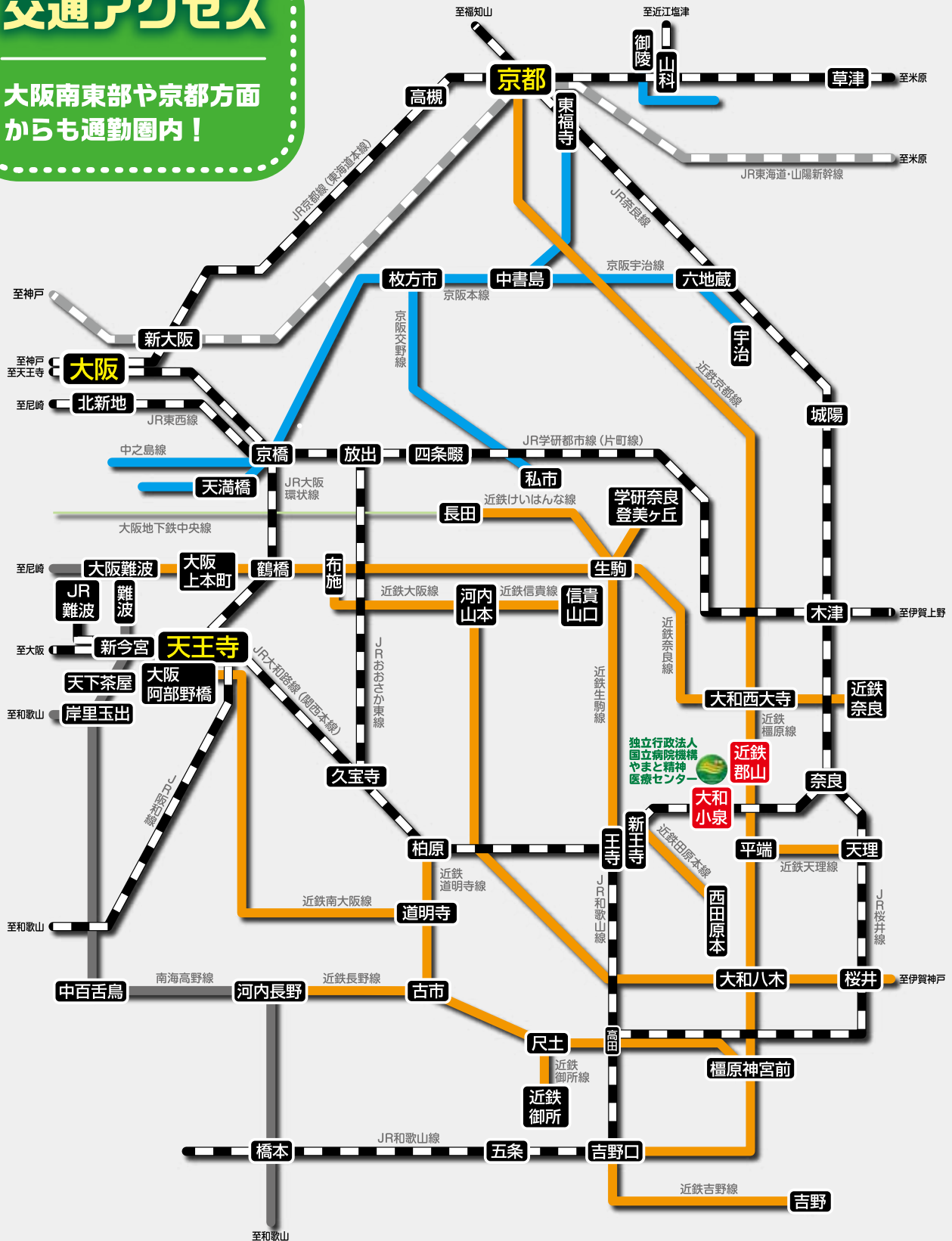
● 頼人研修

5年目以上の看護師が所定の研修を受け、試験を受ける。



交通アクセス

大阪南東部や京都方面
からも通勤圏内！



JR 大和小泉駅東口よりバス 10 分、松尾寺口下車すぐ



独立行政法人
国立病院機構

やまと精神医療センター

〒639-1042 奈良県大和郡山市小泉町 2815 TEL: 0743-52-3081 FAX: 0743-52-8879

<http://yamato-hosp.jp/>

やまと精神医療センター

検索